

### 防災カーテンが火災の拡大防ぐ！ － カセットボンベのガスが漏れ出火、カーテンを焦がす －

平成20年4月27日午前1時20分ごろ東京都台東区内のマンションのリビングで、27歳の男性が夕食の準備をしようとしてカセットこんろにボンベを装着して点火したところ、こんろ脇から炎が噴出し室内のカーテンの一部を焼く火災がありました。幸いにもカーテンは防災製品を使用していたため、カーテンの一部を焦がしただけで被害を最小限に抑えることができました。

火災原因と今後の対策等は下記のとおりです。

27歳の男性会社員が夕食時にカセットこんろを使おうとして、カセットボンベの切り込みの位置を正しくセットしないで器具に装着した。その際「ガス」が漏れ、さらに漏れたガスに気付かず点火レバーを回したため、点火の火花が漏れたガスに引火してカセットこんろの脇から炎が一気に立ち上がり、50センチ離れた室内のカーテンの一部を焼損しました。けが人はいませんでした。

浅草消防署では、カセットボンベの切り込み位置でないところで誤装着すると「ガス」(LPガス)が漏れる場合があり、使用するときは、カセットボンベの切り込み位置をよく確かめて、正しくセットして使用するよう呼びかけています。

また、今回の火災では防災製のカーテンが効を奏し、激しく燃え上がる炎に煽られながらも延焼拡大することなく、表面を焦がしただけのぼや火災ですみました。

このことは、防災製品が極めて効果のあることを物語るものでした。

今後起こりうる地震災害等においても、寝具やカーテン等の生活用品に防災製品を使用することは自己防衛の一つであると言えます。今回の奏功事例を教訓に、家庭内に防災製品を取り入れて、火災を最小限に抑える工夫をしましょう。



一部が焦げただけの  
防災製カーテン

